

# 一般会計予算決算常任委員会 総務文教分科会 審査日程

日 時 令和2年2月25日(火)  
午前10時  
場 所 第2委員会室

## 審査内容

1 承認第1号 令和元年度山陽小野田市一般会計補正予算(第6回)に関する  
専決処分について

**審査番号①** 企画部、地域振興部

(1) 歳出(特定財源を含む)に係る説明

○ 2-1-10 シティセールス課(歳入18-1-1、19-1-1)

(2) 歳出に係る質疑

2 議案第1号 令和元年度山陽小野田市一般会計補正予算(第7回)について

**審査番号①** 総務部、企画部

(1) 歳入に係る説明

○ 1-1-1、1-2-1 税務課

○ 19-1-1 財政課

(2) 歳入に係る質疑

(3) 歳出(特定財源を含む)に係る説明

○ 9-1-1、9-1-2 消防課(歳入16-2-7)

(4) 歳出に係る質疑

## 《職員入替えを予定》

**審査番号②** 総務部、企画部、選挙管理委員会事務局

(1) 歳出(特定財源を含む)に係る説明

○ 2-1-1 人事課

○ 2-1-29 総務課(歳入22-1-1)

(地方債補正:庁舎整備事業債)

(繰越明許費:本庁舎改修事業)

○ 2-1-4 情報管理課(歳入19-1-2)

○ 2-1-8、12-1-2 財政課(歳入18-1-4)

○ 2-1-9 企画政策課

(繰越明許費:プレミアム付商品券事業)

○ 2-4-1、2-4-3、2-4-4 選挙管理委員会事務局(歳入:15-3-1、16-3-1)

(2) 歳出に係る質疑

## 《職員入替えを予定》

審査番号③ 教育委員会

(1) 歳出（特定財源を含む）に係る説明

- 10-2-1、10-2-2、10-3-1、10-3-2、10-4-1 学校教育課（歳入：15-2-5、18-1-2）

（繰越明許費：小学校情報通信ネットワーク等整備事業、中学校情報通信ネットワーク等整備事業）

- 10-1-2、10-2-3、10-3-3 教育総務課（歳入 22-1-6）

（地方債補正：小学校整備事業債、小学校施設改修事業債、中学校整備事業債）

- 10-5-2、10-5-7 社会教育課（歳入：18-1-2）

(2) 債務負担行為に係る説明 教育総務課

(3) 歳出に係る質疑

※1 審査の進行状況により、審査の前倒し、先送りを行うこともあります。

※2 歳出を説明するときに特定財源がある場合は、歳入のページを示し、歳入についても説明をお願いします。

【令和元年度サポート寄附実績】

(1/31時点)

月	人数	金額（円）	楽天分		ふるさとチョイス他		対前年比（円）	対前年比（%）
			人数	金額	人数	その他		
4月	53	1,170,000	0	0	53	1,170,000	-20,000	98.3%
5月	77	2,595,000	0	0	77	2,595,000	975,000	160.2%
6月	117	2,185,000	51	895,000	66	1,290,000	925,000	173.4%
7月	97	2,010,000	47	710,000	50	1,300,000	695,000	152.9%
8月	128	3,225,000	60	980,000	68	2,245,000	1,945,000	252.0%
9月	278	7,685,000	193	4,945,000	85	2,740,000	4,245,000	223.4%
10月	359	11,670,000	205	6,045,000	154	5,625,000	6,280,000	216.5%
11月	528	13,465,000	309	7,625,000	219	5,840,000	7,935,000	243.5%
12月	1,552	39,285,000	968	25,940,000	584	13,345,000	26,363,000	304.0%
小計	3,189	83,290,000	1,833	47,140,000	1,356	36,150,000	49,343,000	245.4%
1月	80	1,540,000	64	805,000	16	735,000	1,170,000	416.2%
2~3月（見込）	231	10,170,000	130	6,000,000	101	4,170,000	8,270,000	535.3%
合計（見込）	3,500	95,000,000	2,027	53,945,000	1,473	41,055,000	58,783,000	262.3%

【平成30年度サポート寄附実績】

月	人数	金額（円）
4月	34	1,190,000
5月	50	1,620,000
6月	48	1,260,000
7月	48	1,315,000
8月	51	1,280,000
9月	104	3,440,000
10月	143	5,390,000
11月	206	5,530,000
12月	457	12,922,000
1月	23	370,000
2月	31	700,000
3月	48	1,200,000
合計	1,243	36,217,000

# 新学習指導要領の情報教育・ICT活用教育関係ポイント

小学校：2020年度全面実施、中学校：2021年度全面実施、  
高等学校：2022年度から年次進行で実施

## 小・中・高等学校共通のポイント（総則）

- 情報活用能力を、言語能力と同様に「**学習の基盤となる資質・能力**」と位置付け
- 学校のICT環境整備とICTを活用した学習活動の充実を明記

## 小・中・高等学校別のポイント（総則及び各教科等）

- 小学校プログラミング教育の必修化を含め、小・中・高等学校を通じてプログラミング教育を充実。
  - 小学校：文字入力など基本的な操作を習得、**新たにプログラミング的思考を育成**
  - 中学校：技術・家庭科（技術分野）において**プログラミングに関する内容を充実**
  - 高等学校：**情報科**において**共通必修科目「情報Ⅰ」を新設**し、全ての生徒がプログラミングのほか、ネットワーク（情報セキュリティを含む）やデータベースの基礎等について学習

# 日本の子供達は、学習にICTを活用していない

● 学校外での平日のデジタル機器の利用状況 (青色帯は日本の、★はOECD平均の「毎日」「ほぼ毎日」の合計)

0% 20% 40% 60% 80% 100% 0% 20% 40% 60% 80% 100%

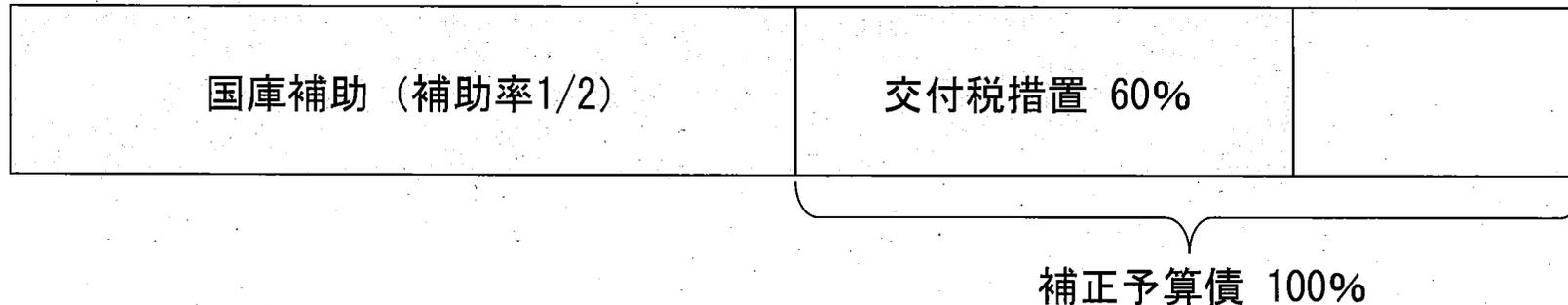


出典 OECD生徒の学習到達度調査 (PISA2018) 「ICT活用調査」

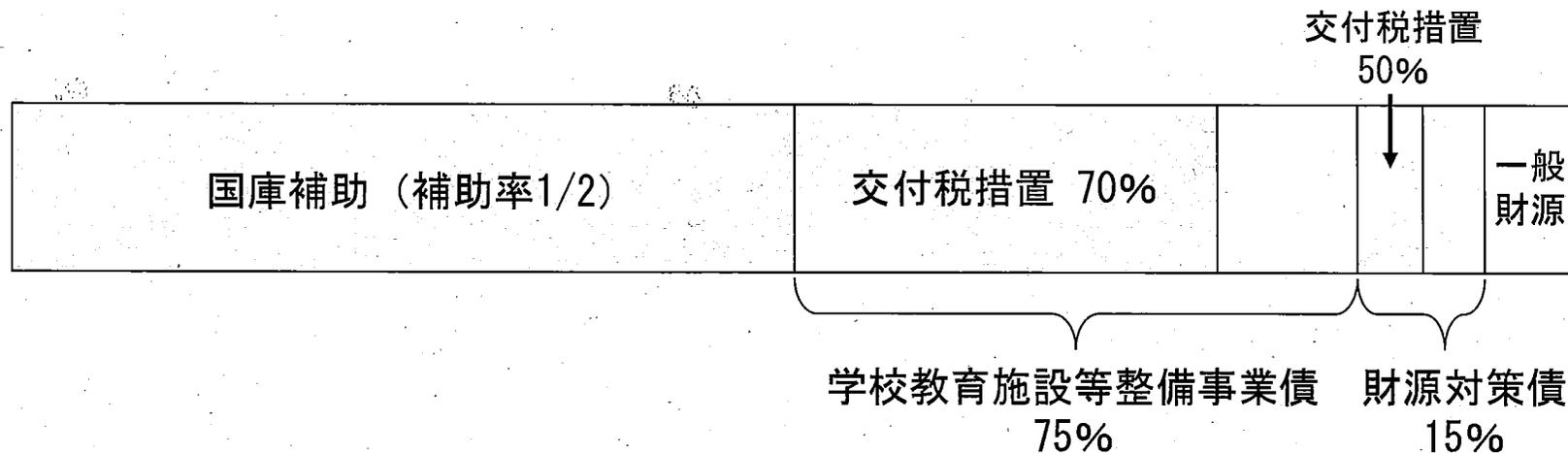
# 「GIGAスクール構想の実現」に向けた補助について

## 校内通信ネットワーク整備事業に係る地方財政措置（イメージ）

### (1) 令和元年度補正予算の場合



### (2) 文部科学省において令和元年度補正予算を繰り越し、令和2年度事業として実施する場合



## 児童生徒1人1台端末の整備事業に係る補助

### (1) 令和元年度補正予算の場合

### (2) 文部科学省において令和元年度補正予算を繰り越し、令和2年度事業として実施する場合

補助単価  
定額4.5万円

# 「1人1台端末・高速通信環境」がもたらす学びの変容イメージ

## GIGAスクール 構想

- ✓ 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する
- ✓ これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図り、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す

これまでの教育実践の蓄積

×

ICT

=

学習活動の一層充実  
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

### 「1人1台端末」ではない環境

一斉学習

- ・ 教師が電子黒板等を用いて説明し子供たちの興味関心意欲を高めることはできる



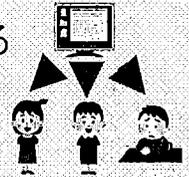
学びの  
深化

- ・ 教師は授業中でも一人一人の反応を把握できる  
→ 子供たち一人一人の反応を踏まえた、双方向型の一斉授業が可能に



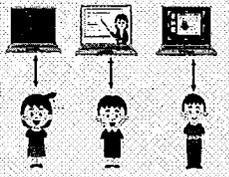
個別学習

- ・ 全員が同時に同じ内容を学習する（一人一人の理解度等に応じた学びは困難）



学びの  
転換

- ・ 各人が同時に別々の内容を学習できる
- ・ 各人の学習履歴が自動的に記録される  
→ 一人一人の教育的ニーズや、学習状況に応じた個別学習が可能に



協働学習

- ・ グループ発表ならば可能だが、自分独自の意見は発信しにくい（積極的な子はいつも発表するが、控えめな子は「お客さん」に）



- ・ 一人一人が記事や動画等を集め、独自の視点で情報を編集できる
- ・ 各自の考えを即時に共有し、共同編集ができる  
→ 全ての子供が情報の編集を経験しつつ、多様な意見にも即時に触れられる



### 「1人1台端末」の活用によって充実する学習の例

- ☑ 調べ学習 課題や目的に応じて、インターネット等を用い、記事や動画等の様々な情報を主体的に収集・整理・分析
- ☑ 表現・制作 推敲しながらの長文の作成や、写真・音声・動画等を用いた多様な資料・作品の制作
- ☑ 遠隔教育 大学・海外・専門家との連携、過疎地・離島の子供たちが多様な考えに触れる機会、入院中の子供と教室をつないだ学び
- ☑ 情報モラル教育 実際に真贋様々な情報を活用する各場面（収集・発信など）における学習

# ステップ1 “すぐにでも” “どの教科でも” “誰でも” 活かせる1人1台端末

## 例えば...

### 検索サイトを活用した調べ学習

- 一人一人が情報を検索し、新聞記事や動画等を収集・整理する
- 子供たち自身が、アクセスした様々な情報の真偽を確認・判断する

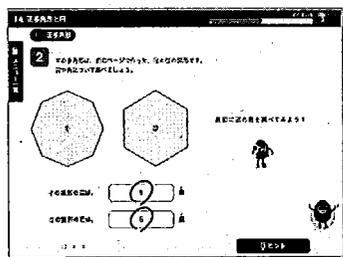


### 文章作成ソフト、プレゼンソフトの利用

- 子供たち一人一人が自分自身の考えをまとめて共有する
- 共同編集で、リアルタイムで考えを共有しながら学び合う

### 一斉学習の場面での活用

- 定理や史実等のイメージを持ちやすくなるデジタル教材を提示する
- 一人一人の反応や考えを即時に把握しながら、双方向的に授業を進める



### 一人一人の学習状況に応じた個別学習

- 学習者用デジタル教材を活用し、一人一人の学習進捗状況を可視化する
- 様々な特徴を持った子供たちに対して、よりきめ細やかな対応を行う

# ステップ2：教科の学びを深める。教科の学びの本質に迫る。

例えば...

## 国語

書く過程を記録し、よりよい文章作成に役立てる

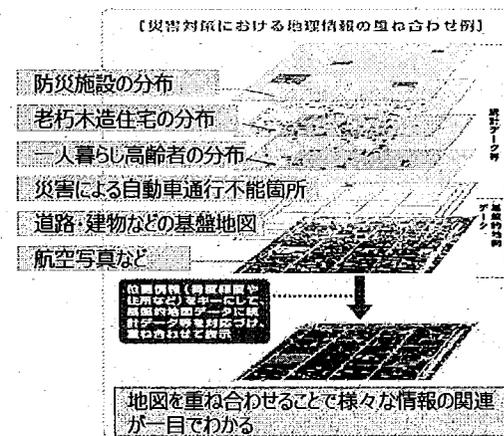
- ・文章作成ソフトで文章を書き、コメント機能等を用いて助言し合う
- ・文章作成ソフトの校閲機能を用いて推敲し、データを共有する



## 社会

ICTを活用して国内外のデータを加工したり、地図情報に可視化したりして、深く分析する。

- ・各自で収集したデータや地図を重ね合わせ、情報を読み取る
- ・分析した情報を、プレゼンソフトでわかりやすく加工して発表



(国土交通省HPより引用)



## 理科

観察、実験を行い、動画を使ってより深い分析を。

- ・観察・実験を動画で記録することで、現象を丁寧に分析
- ・その結果を、レポートやプレゼン資料などにまとめる
- ・写真やグラフの挿入により、表現の幅を広げる

## 英語

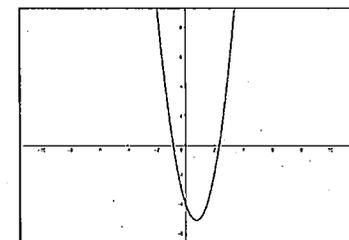
海外とつながる「本物のコミュニケーション」により、児童生徒の発信力を高める。

- ・一人一人が海外の児童生徒とつながり、英語で交流・議論を行う
- ・ライティングの自動添削機能やスピーキングの音声認識機能を使い、児童生徒のアウトプットの質と量を大幅に高めることが可能

## 算数・数学

関数や図形などの変化の様子を可視化して、学びを深める。

- ・画面上に表示した二次関数のグラフを、式の値を変化させて動かしながら、二次関数の特徴を考察
- ・正多角形の基本的な性質をもとに、プログラミングを通して正多角形の作図を行う



□ GIGAスクール1人1台端末整備事業 各校端末整備予定数(令和2年2月25日時点)

●小学校

令和元年 5月1日時点 児童・生徒数	小5 児童数	小6 児童数	児童 予備 端末	児童 端末 合計	小学校 教員 端末数
有帆小学校	32	30	4	66	4
高千帆小学校	99	101	13	213	12
高泊小学校	38	48	5	91	8
小野田小学校	42	64	7	113	8
須恵小学校	70	77	9	156	12
赤崎小学校	43	36	5	84	5
本山小学校	26	32	3	61	4
厚狭小学校	98	116	14	228	13
厚陽小学校	11	13	1	25	5
出合小学校	18	25	2	45	4
埴生小学校	20	29	3	52	5
津布田小学校	6	6	1	13	2
赤崎小松原分校	1	4	1	6	3
教育委員会予備				0	5
合計	504	581	68	1,153	90

●中学校

令和元年 5月1日時点 児童・生徒数	中1 生徒 数	生徒 予備 端末	生徒 端末 合計	中学校 教員 端末数
高千帆中学校	151	7	158	9
小野田中学校	125	6	131	8
竜王中学校	84	4	88	5
厚狭中学校	98	4	102	5
埴生中学校	41	3	44	4
厚陽中学校	8	1	9	1
竜王中松原分校	2	1	3	1
教育委員会			0	0
合計	509	26	535	33

児童計	生徒計	児童・ 生徒 合計	小 教員 計	中 教員 計	中 小 教員 計	総 計
1,153	535	1,688	90	33	123	1,811

# 一人一台端末整備事業スケジュール

(台)

		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		合計
児童・ 生徒用	人数 (人)	小学校	小5	504		小3	538	小1	507	3,215
			小6	581		小4	534	小2	551	
		中学校	中1	509	中2	502				1,572
					中3	561				
	予備機 (台)		94		33		64		65	256
小計			1,688		1,096		1,136		1,123	4,787
教員用 (予備機含む)	台数		123		102		77		50	352
総計			1,811		1,198		1,213		1,173	5,139